

Tohode

街歩きマップ

サポートBOOK

せたがやを、徒歩で。巡ろう、出かけよう。

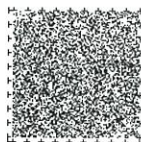
カメラを持って
散歩しよう！

喜多見
地区

素敵な景色と
健康づくりの
魅力が満載！



今日からあなたも「こころと身体をHAPPYにするプラス1」生活を始めませんか？



※音声コードがついています。
専用の装置で読み取り、音声で聴くことができます。



※実際のマップはA3サイズです。

《マップの使い方》

喜多見や鎌田、宇奈根のあたりを歩いて、写真に残しておきたいような風景に出会う。それが、このマップの目的です。マークは「せたがや百景」や野鳥やさくら、お寺や神社などのポイントを表示。カメラマークがあるところはシャッターポイントです。「多摩川と野川の大パノラマコース」「野川の野鳥と寺社の散策コース」を歩きながら、ゆったりとした時間の流れを楽しんでください。歩数の目安もあるので、歩数計がなくてもOK。さあ、カメラ片手に歩きましょう！ ※このマップは、地域の方の情報をもとに作りました。坂道や公園の名前には、まちでの通称名もあります。

tohode

喜多見
地区



歩いていると出会える
とっておきの瞬間

多摩川と野川の大パノラマコース

#多摩川や野川の潤いのそばを心地よく巡る

野川の野鳥と寺社の散策コース

#喜多見の歴史や風情を感じながら巡る



多摩川と野川の大パノラマコース

#多摩川や野川の潤いのそばを心地よく巡る

多摩川の土手、緑道や公園、そして、歴史ある史跡を巡り、野川の潤いある風景へと辿り着く散歩コース。天気がいいと多摩川土手では、富士山ビュースポットになり、空気の澄んだ冬場の朝などは特にオススメです。大パノラマが楽しめます。

- 1 多摩川遊歩道
- 2 宇奈根龍王公園

野川の野鳥と寺社の散策コース

#喜多見の歴史や風情を感じながら巡る

喜多見氷川神社や慶元寺など喜多見の歴史を感じることができる風情あるエリアを歩くコース。季節ごとの美しい風景を堪能できる公園や、数多くの野鳥が飛来する野川の自然を楽しむことができます。日本の旧き時代の暮らしを知ることができる古民家など見どころ満載です。

- 3 喜多見公園
- 4 喜多見氷川神社
- 5 慶元寺
- 6 次大夫堀公園
- 7 次大夫堀公園民家園
- 8 きたみふれあい広場

さあ Let's Go!!



#1 多摩川遊歩道

多摩川と野川の大パノラマコース

晴れた日には雄大な富士山を眺め、緑道に咲く季節の花々を楽しむながら歩くことができる遊歩道。おらかな自然に包まれ、心地よく過ごせます。世田谷区たまがわ花火大会の打ち上げ場所であり、身近に観覧できるスポットです。



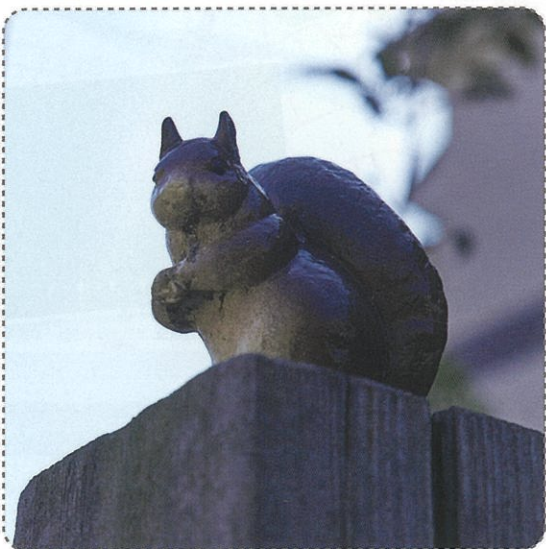
#2 宇奈根龍王公園

多摩川と野川の
大パノラマコース

地元の方々に愛されている公園。健康器具が充実し、ちょっとした運動をしながら過ごせます。散歩途中の休憩スポットとして、気軽に立ち寄れる場所です。



🔍 # 歩きながら探してみてください



カメラを持って歩いていると「何か撮りたい」という気持ちが生まれ、普段なら見過ごしてしまいそうな何気ない風景にも目が届きます。ぜひ、せたがやのまちを歩きながら、自分なりの「撮影スポット」を探してみてください。ここが東京都であることを忘れてしまいそうなほど「のどかな風景」だったり、都心ではなかなか目にするにはできない「野菜の直売所」だったり、かわいいアートだったり、探しどころは満載。カメラを持って出かける散歩の楽しさを、ぜひ味わってみてください。



#3 喜多見公園

野川の野鳥と
寺社の散策コース

緑が豊かで、すべり台やブランコなど子どもが遊ぶ遊具がある喜多見公園。緑にさし込む光を撮影するなど、自然の美しさをどう表現するか、表情が豊かな公園ならではの撮影スポットが満載です。

🔍 # 風情ある街並みと出会える贅沢

神社やお寺も多く、歩いていると喜多見の歴史を感じる風情ある風景に出会えます。



#4 野川の野鳥と 寺社の散策コース

#4 喜多見氷川神社

740年の創建という言い伝えもあるほど古い歴史のある喜多見氷川神社。風情ある風景が続く参道は、歩くだけで背筋が伸びるスポット。世田谷区指定有形文化財である「石鳥居」は承応3年(1654年)に建立されており、都内でも最古級の鳥居です。



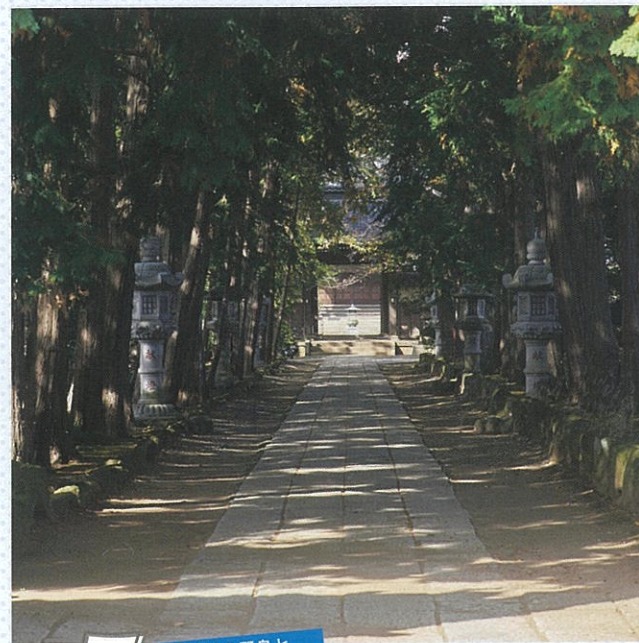
インタビュー

ここ喜多見氷川神社は、住宅街の中に佇む大きな神社です。世田谷区の無形民俗文化財に指定されている「節分祭行事」と「神前神楽(しんぜんかぐら)」は、伝統を感じることができますので、ぜひ来ていただきたい行事です。

また、いつでも見ることができるオススメスポットは竹林のある「参道」になります。この神社が保存樹林地であり、鳥獣保護区でもあるため、鳥を見つけることができます。

ぜひ、足を運んでみてください。

世田谷区総合支所
街づくり課
久本 優希



#5 野川の野鳥と 寺社の散策コース

#5 慶元寺

もともとは現在の皇居周辺に建立され、その後、現在の場所に移った慶元寺。現存する本堂は1716年の建築で世田谷区にある寺院建築物では最古と言われており、三重塔も見所です。十夜法要(11月24日)と仏名会(12月31日)において演奏される双盤念仏(そうばんねんぶつ)は、法要の際に大きな鉦(かね)を互いに打ち鳴らし、抑揚のついた念仏を唱えるもの。地元の人々で構成される講が行う双盤念仏は、区内では慶元寺のみで、極めて貴重な民俗行事であり、世田谷の無形民俗文化財に指定されています。

#喜多見には自然がいっぱい

緑豊かな国分寺産線をのぞむこの地域は、多摩川と野川に沿って平坦で歩きやすい遊歩道が整備されている他、たくさんの自然に出会えます。ヒマワリやイチヨウなどの植物や、蝶々をはじめとする昆虫、アオサギやハクセキレイなどの野鳥など、生き物探しもひとつの楽しみです。



ヒマワリ



イチヨウ



トンボ



ジャコウアゲハ



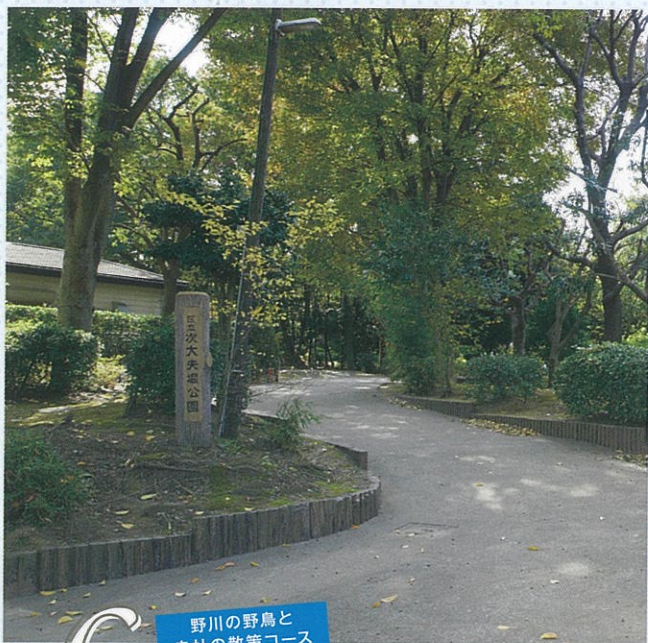
アオサギ



ヒヨドリ



ハクセキレイ



野川の野鳥と
寺社の散策コース

#6 次大夫堀公園

世田谷区の農村風景の典型的なイメージと昔ながらの小川を復元した次大夫堀公園。公園名は小泉次大夫が昔この地域の用水を確保するために作った堀の名にちなんでつけられました。約36,000㎡の敷地の中に650mの水路があり、水路や池には、コイ・メダカ・アメンボもたくさん生息しており、コサギがぎてドジョウをついばむ姿も見られます。水田では、毎年稲作が行われ、近隣の保育園や小学生達による田植えや稲刈りが東京中央農協の協力のもと行われています。



#表紙の背景はどこ？



喜多見エリアを歩きながら、ついついシャッターを押したくなる風景に出会えるマップ「Tohode(トホデ)」。

喜多見地区版の表紙のイラストの風景はどこかわかりますか？

正解はこの冊子でも紹介している「次大夫堀公園民家園」の中にある「茶屋」です。このエリアには「次大夫堀公園民家園」の他にも歴史や風情を感じられるスポットがいっぱい。歩きながら、歴史や風情がある場所を探してみるのも、このエリアを徒歩で巡る楽しみのひとつです。



野川の野鳥と
寺社の散策コース

#7 次大夫堀公園民家園

昭和63年に開園し一般公開されている次大夫堀公園民家園。名主屋敷、民家、表門、消防小屋などがあり、江戸時代後期から明治時代初期にかけての農村風景を再現。「生きている古民家」をテーマに、田舎裏には毎日火が焚かれ、家の中や軒下には民具が置かれています。主屋内にも自由に入ることができ、民具などに触れることもできます。また、農村に伝わる行事等も行っており、昔ながらの生活や風習を体験できます。

開演時間 午前9時30分～午後4時30分(元日は午前10時～午後3時30分)

休園日 毎週月曜日(月曜日が祝・休日にあたるときは、その翌平日が休園日)、年末・年始(12月28日～12月31日、1月2日～1月4日)

インタビュー

次大夫堀公園民家園という名前は、「小泉次大夫」の名にちなんでつけられたものです。こちらの民家園には、名主の屋敷や一般的な農家の屋敷などがあり、江戸時代後期から明治時代初期にかけての農村風景を再現しています。昔ながらの民具などに触っていただける体験型の施設となっていますので、ぜひ、色々と当時の暮らしを想像しながら学んでいただければと思います。



世田谷区砧総合支所
街づくり課
蔭田 睦

#8 野川の野鳥と 寺社の散策コース

きたみふれあい広場

小田急線の電車車庫の上にある人工地盤の公園です。地上10メートルの高さにあるため見晴らしが良く、天気良ければ富士山や丹沢の山々が望めます。38,800㎡を超える敷地に、開放的な展望広場や複合遊具のあるちびっこ広場など、多彩な過ごし方ができるスポット。すぐそばの野川緑道ともあわせて、散歩にも最適です。



喜多見の由来

喜多見地区は古くから集落があり、数々の古墳など多くの遺跡があることから、古代から住みやすいところだったことがわかります。喜多見の地名も古く、鎌倉時代以前からあったようですが、詳細は残念ながら不明。木田見(後に北見、喜多見となる)の名が歴史に見られるのは、鎌倉時代の古文書。江戸氏の一族、木田見氏が、すでに武蔵国木田見郷を分領して居を構えていたとされています。

100 #せたがや百景とは

昭和59年に世田谷区民が投票で選んだ「残し守りたい風景、景観」百か所。せたがや百景の場所には看板やプレートが設置されていますので、記念に写真を撮っておくのもいいかもしれません。



#番外編 野川

野川沿いの潤いや桜がある風景の中を歩けるのも、喜多見地区をウォーキングする魅力のひとつ。カワセミや、季節になると飛来する水鳥など、たくさんの野鳥を観察する良いポイントにもなっています。



カルガモ



オオタカ



カワセミ



コサギ

#番外編 約2万本のヒマワリ

宇奈根ハンカチ公園近くにある「こうちゃんちの野菜in世田谷」では、夏、約2万本のひまわりが広がります。太陽に向かって元気に咲くひまわりの風景は驚きです!



! # いい写真撮影のPOINT

「いい写真を撮るための」コツを大公開！ SNS用写真にも使えます。

- 写真は視点を下げると迫力が出やすい。
- 縦位置の写真は視点が真ん中に集中するため撮りたい対象を明確にしやすい。
- 全景を写すだけではなく、それが何かわからないくらいアップに寄って撮影してみると写真としてはおもしろくなる。
- 緑の多い場所では、時間帯によって変わる光の表情をどう活かすかがポイントになる。

SNS用

- ♥風景だけではなく足元にも気を配って歩いてみる。
かわいい花や模様に出会うかもしれません。
- ♥カラフルな撮影スポットを探してみる。
- ♥フラッシュは使わず、自然の光をできるだけ使う。
- ♥手前にある対象物にピントを合わせるなど、
どうすれば奥行きがでるか考えてみる。



👤 # 地元学生と歩きました

今回のお散歩コースは、地元にある駒澤大学経営学部の学生と、カメラとスマートフォンを持って巡りました。

次ページにカメラマンと一緒に「いい写真の撮り方」を学びながら、学生が撮影した写真の一部を紹介します。どこの風景が見つけれられるかな？



♥ # 厳選Photo

「Tohode」担当デザイナーが、学生の撮った写真から厳選写真をピックアップ！
どれもステキな写真が揃いました。どこにある風景か、探してみるのも楽しいかもしれません。



Tohode[👣]

せたがやを、徒歩で。巡ろう、出かけよう。



多摩川と野川の潤い、そしてそこに生きる木々や花々が魅力の喜多見地区。
自然あふれるまちだからこそ、野鳥や虫を探しながら歩くのも楽しみのひとつ。
野鳥の名前をひとつ覚えるの史跡を巡り、この土地の歴史を知る。
夕暮れの自然の美しさに感銘するなど、ただ歩くだけでなく、色々な発見のあるコース。
カメラやスマートフォンを持って、とっておきの写真を撮るために、
色々なことを気にかけて歩くと、きっとこのまちの新しい一面を発見できるはずです。